

ミニコンサート：

楽しみは一緒に 障害児と健常児が参加 - - 石巻 / 宮城

障害児・者が地域の健常児とともに音楽を楽しむミニコンサートが11日、石巻市立門脇小で開かれた。日常生活でも医療行為が必要な重度の子どもたちも交じって、リズムにのって楽しんだ。

「県重症心身障害児（者）を守る会」の主催。地元の会員同士で余暇を楽しむため歌を習おうと話し始めたのがきっかけ。重複障害を抱えながら地元の普通学校に通う伊勢知那子ちゃん（8）の母、理加さん（37）らが「地域で活動するなら健常児も交じって一緒に楽しもう」と提案し、音楽会へと企画が膨らんだ。

門脇小など市内の学校の児童や、石巻養護学校の児童・生徒、卒業生らも参加。地元のコーラスやハーモニカ演奏グループが耳になじんだ童謡やアニメソングを披露した。

伊勢さんは「同じ空間で同じ音を聴き、びっくりしたり楽しんだりすることで『一緒だね』と感じてほしかった」。

女川町に住む筋ジストロフィーの樋口綾さん（19）は獅子舞の登場に驚き、涙を浮かべるほど怖がりながらも目はステージにくぎ付け。母の和枝さん（44）は「家の前に小学校があるのに、娘は石巻の養護学校まで通い、同世代の友達がいない。これからの子どもたちはそんなことがないようにと参加した」と話していた。

【小平百恵】